



4/8(土)新歓まなび庵に30人の参加！ クラスづくりのアイデアを交流しました

例年になく超多忙な年度はじめ、体調崩したり、週末はぐったりという人も多い中でも、4/8(土)に開催された新歓学び庵には30人の小中学校の先生が参加。クラスづくりのアイデアがてんこ盛りの報告を聞きながら、「さっそくクラスでやってみよう」「新任の去年は来たくてもハトハトで来れなかったけど、参加して本当に良かった」と参加者の声が聞かれました。

3人のアイデア報告で、さらに話が盛り上がり・・・

今回の学び庵は、1人の先生にたくさん喋ってもらうのではなく、3人の現場の小中の先生に、自分の持っているネタやアイデア、自分の経験を話してもらったので、たがいにそのことならこんなアイデアもなどと、どんどん盛り上がり、普段は聞けないような話がいっぱい聞けました。

子どもどうしがつながり合うアイデア、

「ヤッターアメーバー」 「アドジャン」

「さすらいのギャンブラー」 「自己紹介ビンゴ」

「小1でも掃除が10分で終わる」掃除のアイデア

「保護者同士が盛り上がる懇談ネタ」

やってみて子どもがイキイキ反応するアイデアやネタを、実際に参加者で体験しながらわかりやすく、楽しく学習できました。参加者が、すぐにクラスでやってみよう、好評でした。

新任の頃の経験、つながり合い、学習・交流しながら実践力を伸ばそう

報告者からも「自分も新任の年はしんどすぎて、こんな学習会にも参加できなかったけど、授業や子どもとの関係が思うようにいかず、これではいけないと思って、学習会に参加するようになった。紹介したアイデアは先輩や他の先生から学んだものばかり、ぜひ自分も教えてもらったものを他の先生にも活用してもらえたら」と参加者にこれからも一緒に学びましょうとエールが送られました。



「ちょっと不安」が「かなり楽しみに」に！ 学級開きのアイデアがたくさん、さっそく使ってみよう

参加者の感想より、

◎とっても楽しかった！聞いたことあるネタでも久しぶりに思い出せてよかった。学級開きだけでなく懇談やお便りのことも聞けてよかったです。

◎”学級開きのアイデアが沢山とても参考になりました。新しい学校に異動したばかりで始業式にどんなことをするか悩んでいたのが取り入れてみようと思います。”

◎沢山レクの案を教えたいだったので、さっそく来週から活かしていこうと考えています。研修自体は様々な方が参加されていたので、とても落ち着いて受けられました。また機会があれば参加していきたいと思います。

◎去年は初任で余裕がなく参加出来ず、学級開きも不安なまましてしまったので、今年はしっかりと参加してたくさん吸収することができてよかったです。とくに、学級通信は他の先生方がどう書いているのかとても気になっていたのが参考になりました。ありがとうございました！

◎あー、あさってから始まるな…ちょっと楽しみやけど、不安もあるな…、と思っていたのが、ちょっと不安やけど、かなり楽しみ！に変わりました。

◎年度はじめだけでなく、特活の時間にできるたくさんのアイデアを受け取ることができてとても有意義な時間でした。学級懇談会のときにいつも困るので、今回紹介していただいたような懇談会の資料を作ってみようと思いました。

めぞそう!! 仲間とともに 教採試験学習会 (「めぞとも」)

第1回 4/29(土) 13:30 エルおおさか(4/24(月)締め切り)

教育法規、時事、合格者体験談

第2回 5/14(日) 13:30 たかつガーデン(5/8(月)締め切り)

面接ポイント、面接練習、

第3回 6/10(土) 13:30 たかつガーデン(6/5(月)締め切り)

エントリーシートの書き方、面接練習

事前のWeb申込みが必要 右のQRコードから⇒

参加費 第1回は500円、他は各1000円



何でこんなに忙しい？始まって3日で入学式！

詰め込みすぎで子ども、先生に大きな負担とストレスに

「異常な忙しさ」「忙しすぎて体調崩して熱が出た」「始業式から詰め込みすぎ?!」「小学校1年生に始まってすぐ給食は慌ただしすぎる。少しずつ学校に慣れていけるようにしてほしい」

年度初めの職場からたくさん寄せられる声です。

今年度は3日の月曜日に辞令交付で新任、転任の先生が来たと思ったら、先生の名前も顔も覚えるまもなく、怒涛の職員会議、学年会。

新任や若い先生には新しい職場に来ることがそもそも大きなストレス、プレッシャーなのに、こんな短い日にちで学校スタートという設定そのものを考え直す必要があるのではないのでしょうか？

「短すぎる準備期間の見直しを」スクールボイス・プロジェクトが記者会見

学者や現場教員、教育関係者が現場の声を届けようと活動する「スクールボイス・プロジェクト」(S.V.P.)が4/6に記者会見を開き、始業式まで4日以下が自治体の半分を超えていると問題を提起しました。

「新任や若い先生にとって、まわりの先生も忙しく、自分は何をしたら良いかわからない状況。見通しを持たせてあげること、何かあったら頼れる関係性を作る準備期間が必要」と強調しています。

S.V.P.では新任、若い先生の「心理的安全」のためにも、十分な学校のスタートが出来るためにも、学期始まりの日をみなおすことを提言しています。

始業日の変更は市教委の「規則」の変更により可能であり、はそれほどハードルの高いことではありません。教職員、子どもの負担を考えた柔軟な対応こそ必要です。

現場でも声を上げながら、学校でも対応できることを実施に移すことが必要です。

市教委 各校の家庭訪問に方針、

「学校の実態・実情に即した実施を」

「実施しない場合には、住所の現認を」

市教委は4/4校長会で、各校での家庭訪問について次のように示しています。

- ① 1学期中(出来るだけ早く)に家庭訪問、保護者とのオンライン面談、学校での面談など各学校の実態、実情に即して取り組みを実施
- ② 上記の例示の家庭訪問をしない場合には、実地踏査で児童生徒の住所の現認を

今回、「学校の実情・実態に即して実施を」や例示の家庭訪問を実施しない場合についても示しています。家庭訪問は、従来日本の学校で実施されてきた、取り組みで、子ども理解や保護者との連携などにも役立つ一方で、保護者からの負担感の声や、学習量、授業時数の増加などで、希望制や家庭訪問そのものを実施しない動きが全国でも広がっていました。しかし、この中で枚方市教委はこの間、全校・全学年での実施を求めてきており、各校が日程調整や授業時間の確保に頭を悩ませてきたこともありました。

市教委が今回示すように、本来は、市教委は方向性や大きな方針を示す一方で、具体的な教育活動については各校が実情・実態に応じて判断するものです。

家庭訪問に限らず、通知表、自校採点を初めとした市教委からの課題も、各校で判断、実施する原則を明らかにすべきです。

大教済のビッグスリー!!!

若い先生、新任、講師の先生はぜひ加入を！
あなたの身分を守り、もしもの時の困りごとに

総合共済 月600円で 祝い金など多数の給付、

退会時はナント、掛け金の全額が返ってきます!!!

教職員賠償共済 月100円で仕事の事故・トラブルに対応

発生時から、先生に寄り添って、解決の対応にあたります

弁護士の初期相談費用、最高5000万円の賠償対応も

くらしの賠償共済 月200円で日常生活の事故などに対応

家族まとめてまもってくれます！自転車事故の賠償、自転車条例にも対応

示談代行にも対応、法律、税、社会保障相談、24時間緊急医療相談も

新任の先生が総合共済に加入すれば 7/15まで限定

生命共済 (死亡300万円、後遺障害~150万円)

医療共済 (入院1日3000円、手術見舞金 最高15万円)

2つの掛け金が1年間サービスに

詳しい内容、加入はQRから⇒



あなたも枚方教組へ

全教・枚方教職員組合は

働き方や権利の切実な声を取り上げ、改善に力を入れています
よりよい教育のために、みんなの声を集めて取り組みます
学び交流する取り組みを積極的に取り組んでいます



組合加入QRコード
こちらからでも加入できます。

